

# 議会 だより

## 令和5年 第2回定例会

発行 田原本町議会

編集 議会編集委員会

令和5年田原本町議会「第2回定例会」が6月1日から13日までの13日間の日程で開かれました。開会日には森町長から提出議案の説明を受け、会期中、各議案について慎重に審議が行われました。

### 議案概要

#### 《報告を受けた案件》

○令和4年度田原本町一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告

繰越額が確定したので、出産・子育て応援給付金支給事業のほか10件について、総額3億8560万9890円を令和5年度に繰り越したものを。

#### 《承認・可決した議案》

○令和4年度田原本町一般会計補正予算(第13号)の専決処分の報告(全員賛成)

対象装置が品薄で幼稚園児の送迎用バスの安全装置の設置が年度内に完了しないため、令和5年度に繰り越したものを。

○令和5年度田原本町一般会計補正予算(第1号)の専決処分の報告(全員賛成)

補正予算額は6297万5000円の増額で、新型コロナウイルスワクチンの令和5年春夏接種(オミクロン対応型ワクチン接種)の実施にかかる経費を確保するもの。歳入補正は国庫支出金。

○令和5年度田原本町一般会計補正予算(第2号)の専決処分の報告(全員賛成)

補正予算額は1968万1000円の増額で、低所得の子育て世帯に対し対象児童1人当たり5万円を支給する子育て世帯生活支援特別給付金支給にかかる経費を確保するもの。歳入補正は国庫支出金。

○田原本町税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告(全員賛成)

令和5年度税制改正を踏まえた地方税法等の一部を改正する法律の公布に伴い、固定資産税で、長寿命化に資する大規模修繕工事を行ったマンションに係る固定資産税について税額を1年度分限り3分の1減額

することを規定するもの、軽自動車税種別割で、燃費性能等に優れた軽自動車の税率を軽減するグリーン化特例について、現行のグリーン化特例を延長する等の改正を行うもの。

○田原本町都市計画税条例の一部を改正する条例の専決処分の報告(全員賛成)

地方税法等の一部を改正する法律の公布に伴い、条文の整備を行うもの。

○田原本町国民健康保険条例の一部を改正する条例の専決処分の報告(賛成多数)

地方税法施行令の一部改正に伴い、国民健康保険税の後期高齢者支援金等課税額に係る課税限度額及び軽減判定所得基準に係る加算額について改正を行うもの。

○令和5年度田原本町一般会計補正予算(第3号)(全員賛成)

補正予算額は1億1373万円の増額で、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者への支援として、令和5年度住民税非課税世帯等への1世帯当たり3万円の臨時特別給付金の給付、保育料及び学童保育料を2ヵ月免除、並びに幼稚園児・小・中学校児童生徒の給食費を7ヵ月分免除するもの。

生活者への支援以外として、田原本町こどもはぐくみ・交流センターの開設準備にかかる経費等を確保す

#### 《採択とした意見書》

意見書	提出議員
薬剤耐性菌感染症の蔓延防止への取り組み体制の強化を求める意見書(賛成多数)	平田昌隆議員
特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置を求める意見書(賛成多数)	古立憲昭議員

#### 《不採択とした意見書》

意見書	提出議員
適格請求書等保存方式(インボイス制度)の延期・見直しを求める意見書(賛成少数)	吉田容工議員

るもの。

歳入補正は、国庫支出金、県支出金、諸収入等。

債務負担行為補正は、6年間のこどもはぐくみ・交流センター指定管理料で1億600万円、5年間の田原本町駐車場指定管理料で5873万7000円をそれぞれの限度額と定めるもの。

地方債補正は、消防ポンプ自動車整備事業の県補助金不採択に伴い地方債を310万円増額するもの。

○田原本町印鑑条例の一部を改正する条例(全員賛成)

電子署名等に係る地方公共団体情報システム機構の認証業務に関する法律の改正に伴い、個

人番号カード所持者が、コンビニ等のマルチコピー機で印鑑登録証明書を発行する際、移動端末設備（スマホ）を利用した交付を可能とする改正を行うもの。

○一般職の職員の給与に関する条例及び田原本町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例（賛成多数）

令和6年4月1日以降に採用される会計年度任用職員を含む幼稚園教諭について、職員の職務職責に応じた給与構造とするため、教育職給料表から行政職給料表へ移行する等の改正を行うもの。

○田原本町税条例の一部を改正する条例（賛成多数）

地方税法等の一部を改正する法律の公布に伴い、個人住民税で、森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律の施行に伴い森林環境税の徴収方法等の改正を行うもの、給与所得者の扶養親族等申告書の記載事項の簡素化を行うもの、軽自動車税において種別割で、特定小型原動機付自転車（電動キックボード）の税率を規定するもの、環境性能割及び種別割で、賦課徴収の特例割合を改正するもの等の所要の改正を行うもの。

○田原本町家庭的保育事業等の設備



## 町政を問う

このコーナーは本定例会での発言等に基づいて、各議員の責任により原稿の提出を受けたものです。

植田 昌孝 議長

今期定例会では、農業委員会の委員の任命同意、後期高齢者医療広域連合議会議員選挙を含む17件の案件、意見書3件を審議し、議決するとともに、9名の議員が一般質問により町政を質しました。知事選の結果を受け、今後の町政について等、町政に関心を持って、一般質問を傍聴していただく方も増えてきております。議会の活性化、開かれた議会を目指し、令和4年度に設置した大型モニターや質問席の運用も開始し、ご協力をお願いしておりました議場・傍聴席のコロナ感染予防対策による制限も緩和しております。

村上 清司 議員

一般質問において、本町の公共施設の多くは建築後30年以上経過しており、長寿命化を図った場合には年平均維持コスト13・2億円が見込まれ、厳しい財政状況の中、施設の廃

及び運営に関する基準を定める条例及び田原本町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例（全員賛成）

子ども家庭庁設置法が施行され、児童福祉施設の設備及び運営に関する基準が改正されたことに伴い所要の改正を行うもの。

○飛鳥川東地区雨水貯留施設整備工事請負契約締結について（全員賛成）

富本地内において雨水貯留施設を整備する工事を、契約金額1億2053万3000円で、株式会社堂浦土木（田原本町）と工事請負契約を締結するもの。

○財産の取得について（全員賛成）

消防ポンプ自動車を、取得金額2387万円、株式会社モリタ関西支店（兵庫県三田市）より取得するもの。

○指定管理者の指定について（賛成多数）

田原本町子どもはぐくみ・交流センターの指定管理者に、として（※）を指定し、指定の期間を令和6年4月1日から令和11年3月31日までとするもの。

※（特非）子育てすこやかサークルと（社福）町社会福祉協議会の2者による共同事業体

止・統合の検討が必要であり、施設の機能部分を「縮充」という考えのもと検討を進めるとの事でありました。今回実施されている住民協議会については、施設レビュを踏まえて公共施設6施設について自由に議論される場となっており、本町在住の高校生2名を含めた町民から選ばれた38名により住民同士の議論の場として、幅広い世代による公平な議論が進められています。

安田 喜代一 議員

富本地内にオープン型の雨水貯留施設を整備する工事請負契約について委員会審査しました。事業期間は令和5年度から8年度までで、貯留量は5700m<sup>3</sup>です。今期定例会の会期中の6月2日には台風2号や梅雨前線の影響により本町でも大雨となりましたが、先に整備した社会福祉協議会駐車場他雨水貯留施設、阪手地内の雨水貯留施設により被害が軽減されたとの報告を受けました。富本地区は飛鳥川に隣接し過去より浸水被害が多く発生していた地域であり、被害が少しでも解消するものと期待し賛成し可決されました。

古立 憲昭 議員

医療的ケアを含めた特別支援教育が必要な子どもたちに対応した教育

○指定管理者の指定について（全員賛成）

田原本駅前南自動車駐車場及び田原本駅前自動車待機場の指定管理者に、タイムズグループ タイムズ24株式会社（東京都品川区）を指定し、指定の期間を令和6年3月1日から令和11年3月31日までとするもの。

《同意した人事案件》

○農業委員会の委員の任命につき議会の同意を求めることについて

氏名 青池かよ子氏、石田弘氏

井上雅光氏、梅本英子氏

大倉康至氏、栗山佳三氏

坂原良亮氏、澤井美氏

原田雅友氏、福井佳治氏

松岡幸巳氏、松本雅史氏

安田喜代一氏

任期 令和5年7月20日から

令和8年7月19日

《選挙した人事案件》

○奈良県後期高齢者医療広域連合議会議員の選挙について

欠員が2名生じたため選挙を行い、開票結果を奈良県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙長に報告しました。

《総務文教委員会審査の状況》

質問 一般職の職員の給与に関する

を実現するために「特別支援学校・学級等への教員等の適切な配置を求める」意見書を提案し反対はありませんが、賛成多数で採択され、国に提出されました。

一般質問では、①不登校の子どもを取り残さないために、現状と本人に対する対応と保護者に対する対応を問う。②行政サービスとして、申請窓口で申請書を記入せず簡単に手続きができる「書かない窓口」の推進や死亡時に数種類の届出を出される遺族のために負担を軽くできないかを問う。

西川 六男 議員

学校の統合について「3小学校を統合する」「建設場所は田原本小学校の敷地とする」という基本構想（案）を令和4年12月の教育委員会決定した、と答弁されました。しかしその審議は傍聴の方を退場させ、非公開で行われ、議事録も非開示となつています。なぜ非公開にして隠したのでしょうか。

その案を変更した「基本構想」は、令和5年3月30日に「4人の教育委員の自宅を訪問して了承いただいた」と答弁されました。会議も開かずに、年度末ぎりぎりに、なぜこんな形で学校の統合という重要な問題を決定したのでしょうか。

条例及び田原本町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について、幼稚園教諭の初任給の改正前との差は。採用に影響はないのか。

回答 大学卒の場合、約2万2000円下がる。同程度の初任給で採用される市町村から数十名の応募が毎年あると確認している。

質問 田原本町税条例の一部を改正

する条例について、電動キックボードにも原付と同じようにナンバープレートが交付されるのか。

回答 現行の原付より小さいナンバープレート（標準様式縦横10センチ）を交付する。

《厚生建設委員会審査の状況》

質問 指定管理者の指定（子どもは

ぐくみ・交流センター）について、センターで行う事業内容は。

回答 親子同士の交流促進や育児相談、喫茶コーナーの運営を通して障害者等の日中の居場所づくり、子育て世代向けの教室の開催等を予定している。

質問 指定管理者の指定（田原本駅前南自動車駐車場及び田原本駅前自動車待機場）について、選定理由は。

回答 EV充電器の導入や駐車場の満空情報の積極的な配信サービス等の提案があり選定した。

竹邑 利文 議員

大和平野中央田園都市構想を質す。国が掲げるデジタル田園都市国家構想においても支持されている。若者や女性の働く場の創出、健康増進、暮らしやすさの向上を目指す取り組みであり、将来の奈良県の飛躍的発展の起爆剤になり得る。当該構想の中核となるハード整備であり「スポーツ施設を核としたウェルネスタウン」をテーマに事業を進めており、計画地は令和5年3月に用地取得が完了している。予算については3月の県議会において議決されている。町民の夢でもあり民主主義のプロセスに則って県に実現の要望をお願いしたい。

吉田 容工 議員

昨年11月町長は「荒井知事支持」を表明されました。荒井知事支持表明は必要だったのですか？町政や住民にプラス効果はありましたか？と質問しました。町長からは「政治信条に感銘している。」「大和平野中央田園都市構想が、町勢発展に寄与する。」等の答弁がありました。さらに、11月の記者会見は町長として出席して「荒井知事が」出ないのであれば、私が出馬することも検討すると答えていただきました。」と答

弁がありました。荒井知事支持表明は、町のためでも町民のためでもなかったようです。

**岡本 充弘 議員**

令和5年第2回定例会では、議場の音響設備改修に伴い3月議会より質問席が設けられましたが、本議会より一般質問と総括質疑で使用が行われました。初めから質問席を使用される方もいれば、初めの質問は登壇して行われる方もいた為多少の混乱はありましたが、結果的にはモニターを利用するなどの観点からはよかったのではないかと感じています。議会改革の取り組んでいる内容にも議会を知ってもらうために傍聴を含む選択する幅を広げていこうとしていく為にもネット配信などの可能性を考察してまいります。

**杉岡 雅司 議員**

委員会では、町の印鑑条例の改正について審査いたしました。現在は、マイナンバーカードによりコンビニ等のキオスク端末で「印鑑登録証明書」を発行できますが、今後、マイナンバーカードの電子証明書機能を搭載したスマホを利用し、キオスク端末で「印鑑登録証明書」の発行ができるよう改正されました。利便性は向上しますが、マイナンバーカー

ドでの証明書の誤交付等のトラブルも発生しておりますことから慎重な運用が求められます。幸い本町では6月時点で誤交付等のトラブルは発生していないとのことでした。

**持田 尚顕 議員**

東小・北小・田小の3校統合については、前年度で策定した3校統合施設基本構想により、田原本小学校の敷地での建て替えが決まり、令和11年に開校するスケジュール案になっていきます。令和5年度は、建設に係る基本計画を策定し、校舎の配置を敷地の北側か南側に建築するか、プールを設置するのか民間施設を利用するのか、スクールバスの導入などの課題について、より具体的な検討が進み、説明会の実施も予定されています。これまで多くの意見が寄せられており、早い時期に情報提供を積極的に図ることが重要です。

**梅谷 裕規 議員**

議会で①「健康経営優良法人」の認定は企業向きで自治体の取得は費用対効果が少ないうえに担当者の負担増になると指摘しましたが、町長が先頭に立ち取得に挑戦するとのこととです。②町と民間企業との連携協定を活かすよう指摘したところ、町は課題解決のために企業に協力要請

を行うと答弁しました。③約50年間続いた町の「歩こう会」は教育委員会が担当されていきました。コロナ後となるため町民の方の健康増進を目的にコースや回数を見直して再開するように強く訴えましたが、見直すことなく廃止となりました。

**平田 昌隆 議員**

今定例会においては、意見書の提出及び一般質問を行いました。抗生物質など現行の抗菌薬が効かなくなる、薬剤耐性菌感染症が世界的に発生している。コロナ禍の教訓からも、早期に「感染症の蔓延防止へ取り組み体制の強化を求める意見書」を提出し、賛成多数で採択されました。一般質問では、支え合い助け合う地域社会の構築について、①日常買い物などへの支援の推進②認知症の人も家族も安心な地域を③地域防災力の向上への取組み強化の3点を質し、いずれも前向きな答弁を得ることができ、有意義な定例会となりました。

**藤井 誠人 議員**

がん患者支援について一般質問。つらい治療を乗り越えながらも、頑張っている方の後押しを出来るよう、医療用ウィッグや乳房補整具の補助制度を行う事によって、身体的精神的な負担や社会生活上の不安を和ら

げるための助成制度の整備と、A世代(15〜39歳の患者さん)のがん、妊孕性温存療法(にんようせい)の推進を訴えました。「国の第4期がん対策推進基本計画に基づき、若年層へのがん予防教育計画に位置づけを、補助金に関しても先進事例を参考に前向きに検討を重ねる」と、温かい答弁を得ました。

**梶木 裕文 議員**

一般質問にて①再生可能エネルギーの普及に向けた取り組み②災害協定先との連携の実効性を高める取り組み③学生服等のリユース④学校の校則について4点質問。再生可能エネルギーの普及に向けた取り組みでは災害時に活用できる太陽光発電の積極的な活用を求め、リユース事業はベビー服のリユースについて質問、いい事業と思うので実現に向けて検討していくと答弁。学校の校則については生徒指導に疑問を持った時には児童生徒、保護者、教職員が一緒に話し合い、それらの規則を積極的に更新するべきと訴えました。

議会を傍聴してみませんか

次回定例会は、9月上旬に開催(予定)します。

☎ 議会事務局

☎ 34・2119



ホームページ